

点 検 評 価 結 果

2. 生き生きと学び、心豊かな人を育むまち（教育・文化・スポーツ）

1. 幼児教育・学校教育の充実

1. 教育内容の充実

対象	児童・生徒・幼稚園児及び教員・各保護者
目的	子どもたちの学習意欲を高め、多くの体験や交流を通して学校生活を送る。また、先生方のスキルアップを図り自信を持って子どもたちの教育に携われるようにする。保護者に対しては、いじめ根絶スクール集会などを通じて、学校が抱えている課題を共有してもらうことにより、学校、家庭、地域の連携の中で子どもを育てる思いを共有する。

主管課	番号	事務事業	事業内容	決算額 (千円)
学校教育課	1	教育指導充実事業	小学校及び中学校に、学習指導補助員を配置し、学習指導、特別活動及び生活指導における指導業務を行うことにより、児童生徒の健全育成を推進する。	43,215
学校教育課	2	理科教育センター運営事業	学習指導の充実のために、学年別・分野別研修会、ワンポイントに絞った内容の研修会と幼稚園教諭・保育士には地域の自然紹介や生活科単元の研修参加を呼びかけ、また一般市民には理科講演会への参加を呼びかける。 行事については、各校の科学教育推進委員と連携し児童生徒科学研究発表会、科学作品展を開催する。	196
学校教育課	3	視聴覚ライブラリー運営事業	学習に必要な視聴覚教材、機材の貸出を行う。他地域ライブラリーと相互連携をとり、教材、機材をそれぞれ登録団体へ貸出を行う。	104
学校教育課	4	子どもを育む推進事業	園・学校・家庭・地域がそれぞれの立場で、知育・徳育・体育・食育に関する実践事項の活動内容を具体化して推進する。 これまで燕地区で実践してきた子どもフォーラムを吉田地区、分水地区でも実施する。また、「心の燕市8つのチャレンジ」の更なる推進を行う。	542
学校教育課	5	言語・発達障がい通級指導教室運営事業	吉田小学校と燕西小学校に言語障がい指導教室、吉田南小学校に発達障がい通級指導教室を設置し、該当児童への専門的な指導を行う。通級している児童が、通常学級で充実した学校生活を送れるようにする。	106
学校教育課	6	指導強化事業	中学校の生徒を中心とし、小学校児童・幼稚園児に英語活動を指導する。英語に興味をもち、聴く、話す、書くことができるようになり、その結果として、世界に視野を広げグローバルな時代を生き抜く人材を育成する。	21,084
学校教育課	7	小学校における英語活動等国際理解活動推進事業	燕市立松長小学校を拠点校とし、管内小学校職員を対象として研修活動を行う。ALTの活用とともに、積極的に地域人材の活用を図る。そして授業研究の公開、職員対象の研修会等の実施を通して英語活動の指導力の向上を図る。	253
学校教育課	8	学校教育基本計画策定事業	「燕市教育ビジョン検討委員会」を設置し、燕市の教育振興のための施策に関して意見を述べ、審議し、「学校教育基本計画」を策定する。	795
学校教育課	9	課外活動事業	小学生に対し、陸上運動に対する意識の高揚と音楽会を通して音楽への関心を高め、子どもたちがそれぞれ整った施設で学習できるよう課外活動の場を提供する。	1,080

学校教育課	10	学校給食センター運営事業	吉田地区・分水地区の小学校及び中学校の児童生徒に対し、日本型食生活の定着と望ましい食習慣の形成を目的に食育の実践の場である学校給食において栄養バランスのとれた給食を提供するために市の直営で学校給食センターを運営する。	71,326
学校教育課	11	学校給食運営事業	燕地区の小学校及び中学校の児童生徒に対し、日本型食生活の定着と望ましい食習慣の形成を目的に食育の実践の場である学校給食において栄養バランスのとれた給食を提供する。	154,350
子育て支援課	12	幼稚園運営事業	教育課程やきめ細やかな指導方針に基づいて、4か所の公立幼稚園で、入園する児童の保育を実施。施設の修繕、各種委託業務等を行っている。	33,880
番号	評価委員からの意見・評価等		教育委員会の今後の対応	
6	<p>中学生・小学生・一般市民も英語を楽しんでいる人も多くいる。外国人ALTが4人から3人になったのは残念なことである。来年度から小学校において英語の授業が必須となる。外国人のALTの活動の場が広がるよう引き続き検討してほしい。</p> <p>子どもたちが小さい時から外国人からの英語に馴染むことは大切である。身近に外国人がいるだけで話すきっかけになる。耳で聞いて、声を出して話すことが出来るようにリスニングの力をつけてほしい。T.Tの関係、授業の事前準備を検討して有意義な授業にしてほしい。</p> <p>英語との最初の出会いが大切である。英語を身近なものとして楽しんで学べるような環境にしてほしい。</p>		<p>中学校の実効ある活用について、現場の英語教師と共に考察、実践していく必要がある。</p> <p>小学校では、大変よく活用し、職員の指導力の向上に役立っている。</p> <p>今後の取組として、小学校では平成23年度から新学習指導要領が完全実施となり、英語活動の授業が年間35時間となることから、外国人ALTだけでなく、英語に堪能な指導助手によるT.Tも実施していく。</p> <p>中学校においては、現場の教職員と十分協議の上、外国人ALTの活動を精査・検討し、より効果的な配置をしていきたい。</p> <p>また、保育園・幼稚園への訪問も継続し実施していきたい。</p>	
10・11	<p>統一献立の実施に伴い、市内の学校で同じ給食は大変いいことだと評価する。</p> <p>運営形態に違いがあっても献立が同じなので内容、食材の調達についても同じと考えるが、民間と直営との間で差が生じないように十分配慮してほしい。</p> <p>食材については、地産地消及び食の安全を十分考慮してほしい。</p> <p>子どもたちは楽しみにしているので、充実した内容の給食をお願いしたい。</p> <p>どの施設についても老朽化による今後の検討が必要となってきている。大きな問題であるが、安全、衛生面に十分配慮して進めていただきたい。</p> <p>運営が民間でも管理は公でやる方向でお願いしたい。</p> <p>食育については学校と連携をとりながら進めてほしい。</p>		<p>吉田小学校の改築に伴う吉田学校給食センターの移転改築が決定されるまでは、現状の給食センターで必要な改修・修繕の予算要求をしながら、給食調理を実施していく。</p> <p>調理機器等は限界ぎりぎりの状態であるが、随時修繕し、作業を臨機応変に工夫することで現状に対応する。</p> <p>統一献立の実施により、給食物資の共同見積が可能となったため、コスト削減面では効果があがっている。</p> <p>今後、施設統合が実施されれば、維持管理面でのコスト削減も図られると推測される。</p> <hr/> <p>3地区の給食献立を統一することにより、燕地区の給食内容の拡充が図られた。</p> <p>しかし、施設が古く、設備も十分でないため、調理作業に制限が見られる。</p> <p>施設の老朽化が進み、建て替えが必要な様子が見えるので、今後の燕市学校給食センター建設計画の中で、燕地区の学校給食センター建設について検討する必要がある。</p>	

12	<p>コストの削減の方法があるのであれば進めてほしい。適正な人数がないため教育効果も難しいと思われる。</p> <p>地方のニーズも多様化してきているので、アイデアを出して新しい視点で新しいものに挑戦してほしい。</p> <p>全国的に幼稚園児童が少なくなってきた、保育園は教育の必要を求められる。受け入れ年齢だけの違いであり、最終的に幼・保の違いの差が殆どないのであれば一緒にする方向の検討が必要と思われる。幼稚園と保育園の違いが保護者にはわかりにくいと感じる。</p>	<p>子どもと家庭教育や地域を取り巻く環境の変化を踏まえ、幼児教育しやすい環境の整備を図ると共に、次代を担う児童の健全な育成と自立を支援するため、幼稚園が地域の中核となって適正で効果的な幼稚園運営に取り組む。</p>
----	--	--

2. 生き生きと学び、心豊かな人を育むまち（教育・文化・スポーツ）

1. 幼児教育・学校教育の充実

2. 指導体制の充実

対象	市内の小中学生・保護者
目的	心の教室・適応指導教室においては、学校への復帰を第一に、サポートチームにおいては、子どもたちが安心して学校生活を送り、保護者も学校活動を支援してくれるようになることを目指す。

主管課	番号	事務事業	事業内容	決算額 (千円)
学校教育課	1	心の教室相談員派遣事業	生徒一人一人の相談内容に適切に対応し、悩みを相談員に話すことにより、気持ちを切り替え中学校生活を前向きに楽しんで過ごせるように配慮する。 その結果、生徒一人一人の気持ちが軽くなることで、学校生活をスムーズに送り、学校全体の雰囲気をよくしていく。	833
学校教育課	2	教育相談・適応指導事業	燕地区、吉田地区、分水地区それぞれに適応指導教室を設置し、指導員を置いて指導に当たる。また、不登校児童・生徒自身、または、その保護者に対して電話や直接による相談に応じる。	8,047
学校教育課	3	市町村サポートチーム支援事業	問題行動を起こす児童・生徒及び保護者に対し、効果的な指導、援助と保護者への支援をすることにより、問題行動を解決する。	700

番号	評価委員からの意見・評価等	教育委員会の今後の対応
3	<p>学校と保護者の行き違いは、第三者が入ることにより信頼関係の解決になることが多いと思われる。支援事業の目的は、不登校、発達障害の相談等、解決した件数ではない。すべての問題が把握出来るものでないが、1件でも早期対応、初期対応を大切に支援を続けてほしい。</p> <p>初期対応により、問題が深刻になることもある。初期対応を十分注意して、課題解決のためのサポート、児童生徒のよりよい成長の支援してほしい。</p> <p>環境を変えてやることは大事なことである。対応の仕方に十分注意し、誠心誠意耳を傾け問題解決のため支援していただきたい。</p>	<p>困難事例は、確実に減少傾向にある。しかし、児童生徒を取り巻く環境、家庭の教育力等の状況から、学校や担任だけでは、なかなか難しい状況になる場合も多く存在する。問題が深刻になる前に、サポートチームとして児童生徒や担任、保護者とかかわりをもつことで、解決につながる事例も多い。学校をサポートしていくことが、児童生徒の成長と学校の課題解決につながっていく。</p> <p>コストの面での難しさはあっても、児童生徒のよりよい成長と学校を支えていくためにもサポートチームとしての支援は必要である。本人の状況や家庭への対応を含めて、市福祉課や中越教育事務所SSWとの連携も重視しなければならない。</p>

2. 生き生きと学び、心豊かな人を育むまち（教育・文化・スポーツ）

1. 幼児教育・学校教育の充実

3. 教育環境の整備・充実

対象	幼児・児童・生徒及び学校等施設
目的	幼児・児童・生徒が安全、安心な施設で良好な教育を受けられるようにする。

主管課	番号	事務事業	事業内容	決算額 (千円)
学校教育課	1	遠距離通学支援事業（小学校）	遠距離地区に指定された地域に通学バスの運行及び保護者に助成金を支給し、通学の支援をする。	11,036
学校教育課	2	遠距離通学支援事業（中学校）	遠距離通学生徒の保護者に助成金を支給し、通学の支援をする。	4,390
学校教育課	3	特別支援学校就学援助扶助事業	特別支援学校への就学の特殊事情にかんがみ、教育の機会均等法の趣旨に則り、児童・生徒が障害の程度に応じた教育が受けられるよう、希望する者に援助を行い、経済的な負担を軽減させる。	4,159
学校教育課	4	小学校教育振興事業	経済的な理由により就学困難な小学校の児童の保護者に対し、学用品費等の学校で必要な費用の援助を行うことにより、経済的な負担を軽減させ、児童が支障なく義務教育を受けられるようにする。	33,108
学校教育課	5	中学校教育振興事業	経済的な理由により就学困難な中学校の生徒の保護者に対し、学用品費等の学校で必要な費用の援助を行うことにより、経済的な負担を軽減させ、生徒が支障なく義務教育を受けられるようにする。	31,239
学校教育課	6	小学校理科教育等設備整備事業	小学校の理科・算数設備備品の現有率を向上させ、教材を充実させる。理科・算数設備整備を行うことで、本市の理科教育の振興に資する。	12,636
学校教育課	7	中学校理科教育等設備整備事業	中学校の理科・数学設備備品の現有率を向上させ、教材を充実させる。理科・数学設備整備を行うことで、本市の理科教育の振興に資する。	8,760
学校教育課	8	学校衛生管理事業	燕市内の幼児・児童・生徒及び教職員の健康保持のために健康診断等の実施と保健衛生環境の向上を図る。	27,337
学校教育課	9	奨学金貸付事業	奨学金で教育の機会均等と人材育成を目的に成績優秀な学生が経済的理由から就学ができなくなるようなことがないように、学費を貸し出し勉学に励んでもらう。	75,600
子育て支援課	10	幼稚園就園奨励事業	幼稚園に在園する満3歳児から5歳児の保護者に対し、保育料を減免する場合に所得の状況により補助金を交付し、幼児教育の振興を図るとともに、保護者への経済的負担の軽減を図る。	8,473
子育て支援課	11	幼稚園適正配置実施計画策定事業	教育上望ましい集団生活が実践できるよう教育環境の整備及び効果的な行政運営による新たな施策の充実を図るため、適正配置について検討し、「幼児保育、幼児教育基本計画」の適正配置の基本的な考え方に示した事項及び5つのパターンを組み合わせる実施計画を策定する。	0

学校教育課	12	学校支援事業	市内のすべての小学校及び中学校区に地域協議会を設置し、協議会組織のうち、地域コーディネーターを中心に学校支援活動の企画、運営、学校支援ボランティア等の地域協力者の確保等を図り、地域で学校を支える支援体制（学校支援地域本部）づくりを行う。 学校における様々な活動に対し、予算の範囲内で助成を行い、学校、家庭、地域の連携及び活性化を図る。	15,117
番号	評価委員からの意見・評価等		教育委員会の今後の対応	
3	特別支援学校に子どもを学ばさなければいけない家庭は本当に大変だと思われる。より充実した援助を継続していただきたい。		援助費受給希望者の割合が高くなってきているが、保護者の経済的負担を軽減するため、事業を継続したい。	
11	適正な人数を考え、在園児、地元住民の要望等、納得のいく方向で進めてほしい。		適正配置のたたき台をもって保護者と話し合いながら計画案を作っていく。 幼稚園と保育園では保育ニーズが異なるが、両方の意見を取り入れた計画を検討したい。	
12	地域力が低下しているので、とてもいい制度であると思われる。事業を中核としてより地域の力を引き出してほしい。 学校の負担にならないような施策を検討し、学校とコーディネーターの連携により全地域での活動が充実していくことを期待する。		23年度以降は、コーディネーターへの謝礼、ボランティア保険等の支出の大部分は市で負担して行かなければならない。現在1校平均50万円の助成を行っているが、さらなる上積みが必要である。 本事業の成功のカギはコーディネーターである。 コーディネーターの役割の重要性を考え、学校の協力、研修等を充実させる必要がある。 学校を拠点とした活動や交流が新たなまち、地域づくりのきっかけになる。学校が変われば地域が変わる。地域が変われば学校が変わる。そして、何より子どもが変わる。できることから息長く取組を行っていく必要がある。	

2. 生き生きと学び、心豊かな人を育むまち（教育・文化・スポーツ）

1. 幼児教育・学校教育の充実

4. 地域に開かれた学校づくり

対象	児童生徒
目的	部活動外部指導者の活用は中学校の部活動において、スポーツエキスパートや地域でスポーツ実績をお持ちの人材をお願いし、一日2時間程度の指導をしてもらうことにより、充実した部活動を送り、各大会においても成果を上げている。また総合学習においては、まちの先生や地域の達人を講師に迎え、子どもたちのキャリア教育に成果を上げている。

主管課	番号	事務事業	事業内容	決算額 (千円)
学校教育課	1	部活動外部指導者活用事業	中学校に優秀な外部指導者を派遣し運動部活動の競技力向上と地域社会との連携促進を図る。	694
学校教育課	2	総合学習推進事業 (小学校)	燕市の子どもたちに「生きる力」を育むために、各学校が実践する地域や学校、児童生徒の実態に応じた横断的・総合的な学習や児童生徒の興味・関心等に基づく学習などを行うことにより、地域の人材を積極的に活用した教育活動を支援していく。	190
学校教育課	3	総合学習推進事業 (中学校)		80

2. 生き生きと学び、心豊かな人を育むまち（教育・文化・スポーツ）

2. 家庭・地域の教育力の向上

1. 学校・地域・家庭の連携強化と青少年育成活動の推進

対象	子ども、青少年、保護者、教育機関、施設利用団体
目的	教育の基礎となる家庭教育と子どもの生きる力を充実させるとともに青少年の健全育成に努め施設利用者の利便性向上を図る。

主管課	番号	事務事業	事業内容	決算額 (千円)
生涯学習課	1	家庭教育推進事業	市内小中学校・幼稚園・保育園が実施する家庭教育に関する講演会等に講師謝金を助成し、保護者が健康で心豊かな子どもを育てるための一助とする保護者及び教員が、家庭教育について学ぶ機会を得る。	194
生涯学習課	2	子ども体験活動支援センター事業	異なる学校や異年齢とのさまざまな体験活動・ボランティア活動・親子の共同学習などを通して、協調性の育成、親子のふれあいを推進します。また、専門コーディネーターによる相談窓口を設置し、各種団体が実施する体験学習の企画・運営に関する支援を図る。	10
生涯学習課	3	青少年育成センター事業	地域・学校・行政が連携して、青少年の育成環境の整備や地域イベントの開催等により、青少年の保護・健全な育成を図る。	1,861

2. 生き生きと学び、心豊かな人を育むまち（教育・文化・スポーツ）

2. 家庭・地域の教育力の向上

2. 地域の見守り体制の強化

対象	児童
目的	児童が安心して登下校し、校内での防犯も含め安心して授業を受けられるようにする。

主管課	番号	事務事業	事業内容	決算額 (千円)
学校教育課	1	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業	学校と家庭や地域の関係機関・団体との連携を強化し、地域のボランティアを活用するなど地域社会全体で学校の安全に取り組む体制を整備する。	6,416

2. 生き生きと学び、心豊かな人を育むまち（教育・文化・スポーツ）

3. 生涯学習の充実

1. 市民ニーズに対応する生涯学習活動の推進

対象	市民
目的	いつでも、どこでも、だれもが学べ、自らが培った知識や経験、技術を「市民が企画」し「市民が参加」する市民主体の循環型生涯学習社会を目指す。

主管課	番号	事務事業	事業内容	決算額 (千円)
生涯学習課	1	公民館事業（成人対象）	18歳以上の燕市民を対象に、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。	1,066

生涯学習課	2	公民館事業（婦人対象）	市内で自主的に学習している女性のグループに対し、婦人学級を開設し、組織的、継続的な相互学習を通して、生活をとりまくさまざまな課題を考え生活を豊かにする。	16
生涯学習課	3	公民館事業（高齢者事業）	60歳以上の市民に生きがいの探求と仲間作りを図るための学習や趣味の活動に参加してもらい生涯学習の充実を図る。	68
生涯学習課	4	成人式	当該年度の成人を対象に、その中から8人実行委員を選び実行委員会を組織し、式典の企画及び運営を担当し成人式を開催した。	756
生涯学習課	5	中央公民館分館事業	各分館の地域住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。	2,708
生涯学習課	6	吉田公民館事業	学習の機会と場を提供し、吉田地区市民の知識、教養の向上を図り、学習成果をよりよい社会づくりに生かすことができる活力ある生涯学習社会を推進する。	244
生涯学習課	7	吉田公民館分館事業	吉田公民館分館で、学習の機会と場を提供し、各地域市民の知識、教養の向上を図り、学習成果をよりよい社会づくりに生かすことができる活力ある生涯学習社会を推進する。	1,440
生涯学習課	8	分水公民館事業	分水公民館で、学習の機会と場を提供し、各地域市民の知識、教養の向上を図り、学習成果をよりよい社会づくりに生かすことができる活力ある生涯学習社会を推進する。	1,544
生涯学習課	9	読書啓発事業	読書普及のため、各種行事・講座を行うことにより、年齢を問わず、多くの人から、本を身近なものに興味を持ってもらい、いろいろなジャンルの本をより多く読んでもらうことを目的としている。図書館は「夢と知識の玉手箱」であり、より多くの人から、より多くの本を読んでもらうことで、それぞれ違ったことを感じてもらい、その中から創造性を養ってもらうため、読書の普及を図る。	421
生涯学習課	10	ブックスタート事業	4ヶ月児健診が行われる会場において、図書館ボランティアの皆さんの協力をいただきながら、赤ちゃんと保護者に「赤ちゃん絵本を開く時間の大切さ、楽しさ」などのメッセージを伝えながら絵本を手渡す。	1,120

番号	評価委員からの意見・評価等	教育委員会の今後の対応
1	<p>趣味などやりたいことをやるのであれば自己負担は必要である。行政として市民にやってほしいもの、市民がやりたいと思っている事業を選択して実施してほしい。</p> <p>長くやっている人には自分たちでサークルを作るなどして新しい人が入りやすい環境づくりを進めてほしい。</p>	<p>各講座の講師謝礼及び受益者負担の見直しと自主的サークルへの移行によるコスト削減の見直しや、生涯学習社会の中で、教えることも生涯学習の一環であることから、公民館活動で得た知識を活かした知の循環型社会を目指した事業改善が必要であるため、今後検討していきたい。</p>
4	<p>新成人が運営や設営に取り組むことは良いことと思う。</p> <p>実行委員8名では負担が大きすぎるので、前年経験された企画委員も含め検討し、けじめの式として心に残る、成人に達したと自覚できる、まわりの人たちも認めてやるようになる企画を考え、みんなで祝ってほしい。</p>	<p>合併後、開催時期（3月第3日曜日）や会場（燕三条地場産業センター）がようやく市民の皆様に着してきた。企画・運営を実行委員会が行うことを含め、しばらくは現在の形を継承したい。</p>

10	スタート事業だけでなく、ステップ事業も検討してほしい。 事業内容はとてもいい企画である。よりよい方向へ向けて続けてほしい。	今後も継続していきたい。本を介して読み聞かせするひとは、親子関係を独占できる安寧のひと時である。子育て時代は意外と短い。読書の楽しみは、いつでもフィードバックするので、たっぷりの読書を引き続き提供していきたい。
----	--	---

2. 生き生きと学び、心豊かな人を育むまち（教育・文化・スポーツ）

3. 生涯学習の充実

2. 人材と自主運営団体を活かした指導体制・学習機会の充実

対象	①市民のグループ、団体 ②青少年及び成人に対して行われる組織的な社会教育又は社会教育活動を目的とする団体
目的	①「達人」登録者の人材を活かし、市民のグループ・団体の学習機会を充実させ、生涯学習の推進につながるようにする。 ②社会教育関係団体に認定し、自主的な団体活動の充実と推進を図ってもらう。

主管課	番号	事務事業	事業内容	決算額 (千円)
生涯学習課	1	燕市わがまちの達人派遣事業	市民のグループ、団体に対し、「達人」登録者の人材を活かし、市民のグループ・団体の学習機会を充実させ、生涯学習の推進につながるようにする。	0
生涯学習課	2	社会教育登録団体事務	青少年及び成人に対して行われる組織的な社会教育又は社会教育活動を目的とする団体に対し、社会教育関係団体に認定し、自主的な団体活動の充実と推進を図る。	30

2. 生き生きと学び、心豊かな人を育むまち（教育・文化・スポーツ）

3. 生涯学習の充実

3. 学習活動を推進する情報提供の充実

対象	市民及び市外の方
目的	いつでも、どこでも PC や携帯電話からでもアクセスできるようにし生涯学習に関する情報を提供し人 生常に勉強だ、と言う意識を持ってもらう。

主管課	番号	事務事業	事業内容	決算額 (千円)
生涯学習課	1	学習情報発信システム事業	市内で開催されるイベントや各種講座また、各団体の部員募集、行政内の生涯学習に関する情報を ICT で広く市民に紹介し、市民からこんな情報があるよ、とか双方向のコミュニケーションづくりを行うシステムの構築を行う。	0

2. 生き生きと学び、心豊かな人を育むまち（教育・文化・スポーツ）

3. 生涯学習の充実

4. 学習環境の整備・充実

対象	社会教育活動を実施している（したい）市民
目的	いつでも、だれもが快適に学べる施設環境整備

主管課	番号	事務事業	事業内容	決算額 (千円)
生涯学習課	1	図書館管理運営	図書館の施設の維持管理及び図書の購入・貸出業務など充実した運営を行う。	31,405

2. 生き生きと学び、心豊かな人を育むまち（教育・文化・スポーツ）

4. 文化の創造と伝統文化の保存・活用

1. 芸術文化活動の推進

対象	市民
目的	市民の芸術文化の推進及びレベルの向上を図る。

主管課	番号	事務事業	事業内容	決算額 (千円)
生涯学習課	1	燕市美術展覧会の開催事業	燕市美術展覧会を開催し、広く市民の方々を中心に、優れた芸術にふれる機会と相互啓発の場を提供する。それにより、市民芸術文化活動の普及と向上を図る。	1,840
生涯学習課	2	良寛書道展開催事業	良寛書道展を開催し、児童生徒に良寛の生き方を通して書道に触れる機会を提供する。	472
生涯学習課	3	文芸誌発刊事業	文芸誌の作品募集及び発刊し、相互啓発の文芸活動の発表の場を提供する。また小中学校の児童・生徒の文芸活字ばなれといわれている昨今、文芸活動の活性化を図る。	474
生涯学習課	4	各種補助事業	補助金の交付を受ける団体等の文化活動を活性化することにより、市民に対する芸術文化の振興とより豊かな情操意欲の高揚に貢献する。	1,241
生涯学習課	5	各種自主事業の開催	文化会館で優れた舞台芸術作品の鑑賞や市民の芸術・文化活動の場を提供することで、舞台芸術・文化活動の人口増加及び技術の向上を目指す。	12,814

番号	評価委員からの意見・評価等	教育委員会の今後の対応
1	初めて出品する人が増えるようなPR、多くの方から見てもらえるような周知方法等を検討してほしい。 レベルを上げながら、すそ野を広げてほしい。	応募者が少し減ったが作品レベルが向上していると審査員から評価いただいている。継続していく中で出品者数の増加のためのPRに努め、燕市美術協会から協力してもらい、美術関係指導者へ応募者増加につながる働きかけをする。 また、合併後5年が経過するので、市展賞等の賞金についても今後の検討が必要である。
5	事業内容については、十分検討し継続してほしい。 地域に根付かないものは観客が少なく、事業も予算も削減されてしまう。地域に根付かせるために、事業の開催は必要である。出来るだけ継続出来るものは継続して実施することが必要と思われる。	財政状況を見据えながら限られた財源の中で市民ニーズ等を把握し経費のかからない事業展開を図る。 また、燕市文化協会や小中学校等の事業と連携し、会館自主事業の種類及び対象を絞った事業を計画する。

2. 生き生きと学び、心豊かな人を育むまち（教育・文化・スポーツ）

4. 文化の創造と伝統文化の保存・活用

2. 歴史・文化遺産の保存・活用

対象	市民
目的	市内に多く残されている歴史・文化遺産の継承意識の向上や郷土資源を愛し、育む意識の啓発、推進する。

主管課	番号	事務事業	事業内容	決算額 (千円)
生涯学習課	1	指定文化財保護事業	地域の歴史文化のシンボルである指定文化財を保存・活用することで、市民の地域理解の手助けとする。また、自らが地域の文化遺産を継承する意識の向上を図る。	5,835
生涯学習課	2	分水良寛史料館展示事業	分水良寛史料館における展示事業全般。通常展のみならず特別展示及び企画展示を行い、あるテーマを持たせた展示事業も行う。	1,581
生涯学習課	3	郷土史発刊事業	身近で埋もれがちな地域の歴史記録をまとめ、本の形態で刊行することで地域資料としての位置づけを図る。 また、多くの人にこれを活用してもらい、地域理解を深め、歴史文化を継承する意識の向上を図る。	251
生涯学習課	4	埋蔵文化財保存事業	遺跡台帳及び地図の整備を推進し、他の文化財と異なり普段目にするのでできない埋蔵文化財を的確に把握・周知する。 一般市民向けとして広報紙にコラムを掲載するなど、埋蔵文化財への意識周知を行う。	43

番号	評価委員からの意見・評価等	教育委員会の今後の対応
2	良寛を紹介するような取組、周知方法、興味をもつようなアプローチを考えてほしい。 年1回でも、メインになるイベントの企画を検討してほしい。 市の広報紙に掲載する等のPR、同時代人、いろいろな人の展示を企画し、入場者を増やす企画を検討してほしい。 子どもたちから、良寛に興味をもつような取組を考えていただきたい。	新たな史料が出てこない現状だが、その中において市民ニーズに合わせた展示を企画し、より多くの方々から来館していただけるよう、再度原点を顧みる形で市民目線での企画運営を図る。 小学生の社会科副読本等を作成する中で、良寛を含めた郷土の偉人を紹介し、子どもたちが郷土に誇りを持つことが出来るように取り組む。

2. 生き生きと学び、心豊かな人を育むまち（教育・文化・スポーツ）

5. スポーツ・レクリエーションの充実

1. スポーツに親しむ環境の充実

対象	市民全体
目的	多くの市民が日常的にスポーツに親しむことのできる環境の充実を図る。

主管課	番号	事務事業	事業内容	決算額 (千円)
スポーツ振興課	1	体育指導委員に関すること	燕市体育指導委員からスポーツの実技指導、スポーツ行事の協力、各種研修会・講習会等の参加、スポーツ振興に関する指導・助言等を行うことで、広く市民にスポーツに親しむ機会を提供し、生涯スポーツ活動の振興を図る。	2,187

スポーツ振興課	2	社会体育関係団体及びスポーツ指導者の育成に関すること	合併3年目を迎える燕市体育協会及び燕市スポーツ少年団を育成・支援することで、行政から独立して自主的にその活動ができるようにし、その体育協会及びスポーツ少年団と連携をとりながらスポーツに親しむ環境の充実を図る。	9,378
スポーツ振興課	3	小・中学校施設開放に関すること	学校体育施設を開放することによって、各学校の地域住民が気軽に集い、親睦と活動の輪を広げながらスポーツ活動をすることにより、生涯スポーツの振興及び健康の推進増進に繋げる。	6,733
スポーツ振興課	4	総合型地域スポーツクラブ運営事業	長期28教室、短期8教室を総合型地域スポーツクラブに業務委託し、教室を開催した。	5,563
番号	評価委員からの意見・評価等		教育委員会の今後の対応	
1	指導を受けている人の中から指導員を育成し、人材の質を高めるように努めてほしい。 各地区において平等な施策を基本に検討してほしい。		体育指導委員が指導するニュースポーツを中心としたスポーツ教室の充実を図ることで、教室参加者を増やし、ニュースポーツ大会の参加へと結びつけていく。 燕市体育協会や総合型地域スポーツクラブ等のスポーツ関係団体と連携をとりながら、子どもから高齢者までが気軽に楽しめるニュースポーツ等の指導を行っていく。	
2	法人化し、総合型を目標として独立して活動を進めてほしい。 現状の効果を落とさず、コスト削減の方法があるのであれば削減してほしい。しかし、未来を託す子どもたちがスポーツ少年団で頑張っているの、健全な子どもたちの育ちに効果的な支援をお願いしたい。		燕市体育協会の平成22年の法人化・総合スポーツクラブの立ち上げ等に対して、効果的な育成・支援を行っていく。 スポーツに親しむ環境の充実を図るためには、体育協会・スポーツ少年団の協力は必要不可欠であり、今後も連携をとりながらスポーツ振興事業を展開していく。	
4	分水地区においてモデル事業を実施してきたが、全地域において同じような総合型の事業を検討し、総合型クラブで子どもたちはいろいろなスポーツを楽しんで体験してほしい。 少子化に伴い、いろいろな団体が、子どもの奪い合いをする状態にならないように事業を検討してほしい。		教室等の委託事業については内容の見直しを行い、平成23年度から、3地区で均衡を取って開催する。また、総合型クラブへの市民の理解を深めていきたい。 燕市体育協会では平成22年6月に一般財団法人を取得し、日本体育協会の助成金の交付を受けて総合型スポーツクラブの創設を準備しているところであり、平成23年2月の設置を目指している。行政としても設立を支援して行きたい。	

2. 生き生きと学び、心豊かな人を育むまち（教育・文化・スポーツ）

5. スポーツ・レクリエーションの充実

2. 生涯スポーツ活動の充実

対象	市民全体
目的	スポーツ活動に取り組む市民の割合を増やす。

主管課	番号	事務事業	事業内容	決算額 (千円)
スポーツ振興課	1	市民総合スポーツ祭開催事業	燕市体育協会にスポーツ大会等の開催を事業委託し、広く市民からスポーツ大会等に参加してもらうことにより、スポーツ活動に親しむ市民を増やし、生涯スポーツ活動の充実を図る。	5,150
スポーツ振興課	2	スポーツ教室開催事業	スポーツ教室の開催により、スポーツに親しむ機会のない市民にスポーツを行うきっかけを提供することで、年齢や性別、技術レベルに応じたスポーツ教室を開催することで、スポーツに親しむ市民を増やす。	6,393 (委託事業, 5,563千円含む)

スポーツ振興課	3	スポーツ大会開催事業	各種スポーツ大会の開催により、スポーツ活動に親しむ市民を増やすことで、市民の体力向上・健康増進・相互交流を通してスポーツへの関心を高め、生涯スポーツ活動の充実を図る。	1,284
番号	評価委員からの意見・評価等		教育委員会の今後の対応	
1	燕市体育協会への完全委託事業となるが、より内容の充実、周知方法の工夫等により、多くの市民が参加できるよう連携していく必要がある。		事業内容の見直し、整理・統合を検討し、効果的な事業展開を図っていききたい。	
2	たくさんの教室が行われているのは、大変いいことだと思う。どの地区においても平等な運営、市民ニーズにあった教室の内容と運営を展開してほしい。		市直営と総合型地域スポーツクラブ（委託）の両教室が開催しているが、今後は体育協会も交えて教室の運営等を見直し、スポーツに親しめる市民が増えるような効果的な教室開催を目指す。	
3	生涯スポーツ事業として続けていく必要がある。健康づくりとの関連付けや目的をしっかりとした形で、新たな大会参加者が増えていくような事業展開をしてほしい。		スポーツ活動に親しむ市民を増やすためには、これまでの大会や教室などを見直し、子どもから高齢者まで誰でも気軽に参加できる大会や教室の開催を検討する。	

2. 生き生きと学び、心豊かな人を育むまち（教育・文化・スポーツ）

5. スポーツ・レクリエーションの充実

3. 競技スポーツの振興

対象	全国大会規模の大会の出場を目指す選手
目的	全国大会で活躍できる選手の増加を目指す。

主管課	番号	事務事業	事業内容	決算額 (千円)
スポーツ振興課	1	全国大会出場者助成金	燕市に住所を有し、予選会を経て全国大会規模の大会に出場する選手、コーチ、マネージャー等（登録が必要な者）に激励金を交付する。また、全国大会に出場し全国大会で活躍する選手が出ることで、市民の競技スポーツへの関心を高めるとともにスポーツ振興及び競技レベルの向上に繋げる。	2,420
番号	評価委員からの意見・評価等		教育委員会の今後の対応	
1	競技スポーツ全体レベルの向上のため続けてほしい。 選手も激励されることにより、力になる。是非続けていただきたい。		体育協会、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、学校等スポーツ関係団体と連携をとりながら、スポーツ振興及び競技レベルの向上を図り、激励金についても継続していく。	

3. 生きがいとやさしさを実感できるまち（健康・福祉）

3. 子育て・子育て支援の充実

1. 保育サービスおよび子育て支援の充実

対象	子ども、保護者、子育て家族
目的	子どもを健やかに育む環境整備を図り、子育て家族を支援することにより、家族が安心して就労できる環境づくりを進める。

主管課	番号	事務事業	事業内容	決算額 (千円)
子育て支援課	1	児童館運営事業	児童の放課後の居場所として自由に来館し、安全に過ごすことのできる場所の確保と、季節の行事等各児童館、児童センターごとにアイディアを盛り込んだ活動（ミニ運動会、七夕茶会、高齢者との交流会、工作など）を企画・実施し、創造性、情操豊かな児童の健全育成を図る。	39,022
子育て支援課	2	児童研修館運営事業	さまざまな体験活動を通じて豊かな感性をはぐくむことを目的とした児童研修館「こどもの森」の事業を運営する。	11,200
子育て支援課	3	児童クラブ運営事業	共稼ぎ等の理由により、放課後家族が誰も在宅していない家庭の小学校1年生から4年生までの低学年児童に対して、見守り生活指導と安全管理等を行い、児童の健全育成と保護者の就労支援を図る。	62,198
子育て支援課	4	なかまの会事業	既存の学校施設や地域の公共施設を有効利用し、放課後の過ごし方の中で、なかまの会として子ども達の遊びや勉強ができる場所を提供していく。	26,537
子育て支援課	5	保育園運営事業	家庭や地域社会と手をつなぎ、保護者の協力を得ながら次の世代を生きる子どもたちを豊かに健やかに育てるよう、24カ所の公立保育園で、入園する児童の保育を実施し、内科・歯科健診、施設の修繕、給食、各種委託業務等を行う。	259,820
子育て支援課	6	私立認可保育所委託事業	市内の私立保育園4カ所で実施する保育運営費、特別保育等にかかる経費を負担する。	352,542
子育て支援課	7	保育所広域入所委託事業	保護者の事情により、保育に欠ける児童が居住市町村以外の市町村にある保育園に入所できるよう、関係市町村との間で十分に連絡調整を図り対応する。	25,024
子育て支援課	8	保育園適正配置実施計画策定事業	特定な地域に偏ることなく、地域の子育て支援の中心的な役割を担うことができるような配置や、家庭で保育する世帯への子育て支援の充実が図られるような施設の配置を検討する。	0

番号	評価委員からの意見・評価等	教育委員会の今後の対応
3	非常に大切な事業であり、継続を強く要望する。児童の適切な遊びや生活指導のため指導員体制の充実が必要である。 子どもたちの移動時間、移動距離の安全確保についても考慮した運営場所の検討が必要である。	各種研修会の参加による指導員の資質向上と大規模化しているクラブの適正な人員配置の確保に努め、安全管理と事業の活性化を図る。 児童クラブ未設置の学区の設置を目指し、空き教室の活用など学校の理解と協力を図る。
4	安心して子どもを預けることのできる体制整備に努めてほしい。	児童数の多いなかまの会は、学校の理解と協力をえて、空き教室を使用して混雑の解消を図るなど、今後の運営について検討する。

5	<p>障がいのある子どもや虐待の疑いが見受けられる子どもたちの対応等により、保育士の負担が大きくなってきている。保育士が働きやすい環境整備が必要と思われる。</p> <p>障がいのある子どもに対する対応については、サポート、保育士のスキルアップが大切である。</p> <p>子どもたちに対する予算を手厚くし、人的補助、環境整備の予算確保をお願いしたい。</p> <p>保護者に対する支援は、行政全体としての関わり、事業等の検討が必要と思われる。全体で関わる支援が必要である。</p>	<p>少子化や、働く女性の増加と夫婦共働き家庭の一般化、核家族化・離婚の増加、家庭や地域の子育て能力の低下など、子どもと家庭や地域を取り巻く環境の変化を踏まえ、子育てしやすい環境の整備を図ると共に、次代を担う児童の健全な育成と自立を支援するため、保育園が地域の中核となって子育て支援に取り組む。</p>
8	<p>保護者の多様な就労の事情に対し、私立保育園では様々なサービス展開をしており、公立保育園でも取り入れられるサービスがあれば、取り入れるように考えてほしい。</p> <p>小学校学区での検討が必要と思われる。</p>	<p>適正配置のたたき台をもって保護者と話し合いをしながら計画案を作っていく。</p> <p>幼稚園と保育園では保育ニーズが異なるが、両方の意見を取り入れた計画を検討していく。</p>

3. 生きがいとやさしさを実感できるまち（健康・福祉）

3. 子育て・子育て支援の充実

2. 子育て環境の整備

対象	子ども、保護者、子育て家族
目的	子育て家庭への経済的支援や子育て支援の環境を整備し、保護者の子育て不安や負担感の軽減を図る。

主管課	番号	事務事業	事業内容	決算額 (千円)
子育て支援課	1	次世代育成支援推進事業	市が取り組む次世代育成支援政策の基本理念や達成目標等に基づいて、福祉や保健、教育など各部門にわたる各施策を総合的に設定したうえで、子育て支援事業や働きながら子育てをしている家庭への生活支援及び子どもたちの健全育成のためのさまざまな支援事業を展開することにより、次世代を担う子どもが健やかに生まれ、かつ育成される環境の整備・充実を図る。	2,195
子育て支援課	2	ファミリー・サポート・センター運営事業	登録会員の拡大を図り、より充実した事業展開を図り、仕事と育児を両立し、安心して働くことのできる地域社会の実現を目指す。	3,600
子育て支援課	3	赤ちゃん誕生祝い金等支給事業	子育て家庭を応援し、出生率の向上を図るため、第3子以降の出生に対して誕生祝い金及び子育て支援金を支給する。	20,600
子育て支援課	4	地域子育て支援事業	保育園等に入園していない小学校就学前までの児童及びその保護者に対し、育児相談指導と情報提供をすることにより、育児不安を解消し、安心して子どもを産み、ゆとりをもって健やかに子育てできる環境づくり及び子育ての輪を広げる	10,369

事業以外のことに関する意見

評価委員からの意見・評価等	教育委員会の今後の対応
<p>事務事業評価シートの指標の捕らえ方や数値の記載方法など考慮してほしい。</p> <p>事業の必要性、事業の立ち上げの目的が見えないため、目標値設定の根拠が分かりにくい。</p> <p>達成率を上げるために、前年との違い。そのための施策についての記載が必要。結果だけでは判断できない。</p> <p>効率性の記載でコストの削減方法があるのであれば、どのような方法なのか、どのような対応が必要なのか、記載が必要と思われる。</p> <p>新しい視点で少しでも新しい方法で検討してほしい。</p> <p>教育委員会の重点目標が示されれば、全体の流れ、動きが分かりやすい。</p> <p>いろいろな企画に参画された市民の人たちが、いろんな場面で、継続的に参画できる組織の検討が必要。</p>	<p>事務事業評価シートの表記の仕方について、今後、統一してわかりやすいように改善を図っていく。</p> <p>評価をいただいたことを、来年度予算編成に反映させることができるよう、評価委員会の開催時期を検討したい。</p>